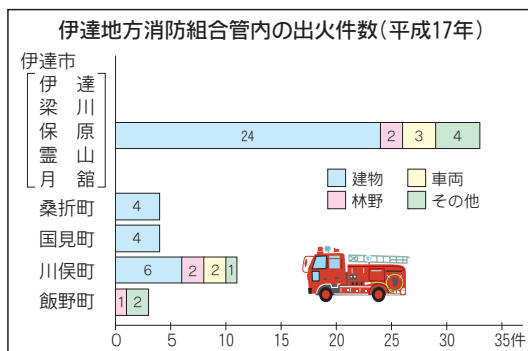




春の火災予防運動 3月1日～3月7日 火災を防ぐのは 一人ひとりの防火習慣

写真：1月29日に保原・薬師堂で行われた文化財防火予防訓練



伊達地方消防組合管内(伊達市、桑折町、国見町、川俣町、飯野町)で、昨年一年間に発生した火災は55件でした。そのうち、伊達市内で発生した火災は33件(前年比11件減)、火災による死傷者は6人(前年比6人減)となっています。前年に比べ、発生件

平成17年の 市内の火災発生状況

私たちの財産だけでなく、場合によっては命までも奪ってしまう火災。その多くは、日常生活でわずかな油断から発生しています。
3月1日から7日までの7日間は、「春の火災予防運動」の実施期間です。改めて、火災の発生状況や防火体制を確認するとともに、身近にできる防火の習慣を身に付けましょう。

伊達市の火災損害額
平成17年に市内でおきた火災の損害額は約8900万円(前年比約450万円減)で、前年に比べて減少していますが、一日平均で約24万円が灰となった計算になります。また、建物火災1件あたりの平均損害額は約320万円となっています。

伊達市内の火災損害額(平成17年)
(単位千円)

	地域計	内 訳			
		建 物	林 野	車 両	その他
伊 達	2,225	300	0	1,925	0
梁 川	14,248	8,962	5,226	60	0
保 原	39,046	39,008	0	0	38
靈 山	15,915	9,905	0	6,010	0
月 館	17,580	17,569	0	0	11
市全体	89,014	75,744	5,226	7,995	49

数、死傷者数ともに減少したものの、決して少ない数字ではありません。

私たちが火災から守る防災組織

伊達地方消防組合

伊達地方消防組合市消防本部は伊達市保原町大泉字大地内にあり、24時間体制で私たちの安全を見守っています。

平成17年4月1日現在の職員数は149人。配属は消防本部に18人、中央消防署に37人、東分署に22人、西分署に25人、南分署に25人、北分署に22人です。消防本部以外に勤める消防署員の勤務は朝8時30分から翌日の朝8時30分までの24時間。

勤務は中央消防署で1グループ12人体制。西分署・南分署は8人体制、東分署・北分署は7人体制で火災から救急まで対応します。



伊達地方消防組合消防本部（写真左上）。同じ建物にある中央消防署と4つの分署で、伊達市や伊達郡内の町を火災などから守ります。



24時間の勤務を終えた署員は、消防・緊急車両を確認し、次の勤務者に引き継ぎます（写真上）。その後、署内で事務的な引継ぎ、打ち合わせを行い、一日の業務がスタートします。

伊達市消防団

伊達市消防団は伊達市発足に伴い、新たに組織されました。旧5町の消防団は支団として位置づけられています。

消防団員の役割は主に日頃の巡回や啓発などの予防活動です。消防団員は日頃、生業に従事していますが、火災や災害発生時には仕事を投げ出して現場に駆けつけます。伊達市の消防団員数は1584人で、ポンプ車17台、可搬式ポンプ92台などとなっています。



1月15日に行われた市消防団出初め式。各支団から団員443人と女性防火クラブ員が参加しました。保原町の陣屋通りで通常点検や保原支団ラッパ隊の演奏（写真左下）にあわせて分列行進（写真右）を行いました。

その後、団員らは保原市民センターに移動し、富田市長職務執行者の告示、池田団長からの訓示（写真左上）をうけました。

春の火災予防運動

3月1日(水)～3月7日(火)

統一標語

「あなたです 火のあるくらしの見はり役」

この運動は、火災が発生しやすくなる時季を迎えるにあたり、市民の皆さんに、防火防災に関する正しい知識と防災力を高めていただくことにより、火災の発生・拡大を防止し、尊い生命と貴重な財産を守ることを目的としています。

重点目標

- ・住宅防火対策の推進
- ・認知症高齢者グループホーム等、高齢者が入居する施設の防火安全対策の推進
- ・放火火災、連続放火火災防止対策の推進
- ・林野火災予防対策の推進
- ・乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- ・車両火災防止の徹底

種別・原因別にみると

火災種別ごとにみると、市内では建物火災が24件と最も多く、そのなかで、多くを占める住宅火災では、発見の遅れや火や煙のまわりが早かつたと思われる事案が多く見られます。次いで車両火災3件、林野火災2件、その他火災4件となっており、空気が乾燥しやすい3月から5月、火気の取り扱いが多くなる11月から12月に発生しています。また、出火件数を原因別に

（不明・調査中などを除く）みると、焚き火が7件で最も多く、次に風呂・かまどの4件となっています。

市内の防火体制

伊達市には1市4町で構成する伊達地方消防組合、伊達市消防団があり、火災発生時の消火や日頃からの防火啓発などの活動を行っています。しかし、火災の発生・拡大防止に最も効果があるのは、一人ひとりが防火の正しい知識と習慣を身に付けることです。